

「品川区」と聞いて、 どんなまちをイメージしますか？

歴史と伝統があるのに、先進的。多様な価値を包含するまち。

住めば住むほど、働けば働くほど、様々な魅力に驚かされるのが品川区。

職員の中には、地方出身者など、就職活動をするまで品川区にあまり縁のなかった方もいます。ぜひ、品川区を体感しにきてください！

都会でも豊かな水と緑

天王洲アイルなどにオフィスビルが立ち並び一方で、京浜運河、目黒川、品川区民公園など、自然と都会が融合した街並みが広がっています。品川クルーズなど水辺を活かした観光も盛んです。

14路線40駅の交通網 100を超える商店街

交通の便もよく、通勤・通学に便利です。
また、全長1.3kmを超える戸越銀座商店街をはじめ、多数の商店街が区民の心のよどころとなっています。



歴史のある神社の数々

徳川家康が関ヶ原の戦いへ出陣の際に戦勝祈願したことで有名な品川神社。その行まいは、都会の中にあることを忘れさせるほどの厳かさ。区内には他にも寺社仏閣が数多くあります。

お祭り好きの血が騒ぐ！

東海道五十三次で最初の宿場町として栄えた品川の伝統と文化遺産を若い世代に伝える「しながわ宿場まつり」。森澤区長も町娘として参加しました！
ほかにも、区内のいたるところでお祭りが盛んです。

令和6年度 SDGs未来都市と 自治体SDGsモデル事業にW選定

令和6年度には、SDGs達成に向けた優れた取り組みを提案する都市として、内閣府から「SDGs未来都市」に選定されました。環境学習交流施設「エコルとごし」の整備をはじめ、SDGsに貢献できるような施策を推進しています。

スタートアップ企業を支援

品川・大崎・五反田エリアの新しいビジネス拠点として誕生した品川産業支援交流施設「SHIP」。異分野の企業が交流する場を作るほか、新たな企業が誕生するサポートを行っています。



品川区職員採用案内
SHINAGAWA CITY RECRUITING GUIDE

品川区で、
□
知らない？

品川区で生まれたあなたも、品川区なんて知らないよってあなたも、
ここに、あなたらしく働ける場所があります。
品川区は、職員がプライベートを大切にしながらも
安心できる職場で区民のしあわせのため挑戦していけるよう、バックアップします。
きっかけなんてなんだっていい。
品川区で、□ 知らない？



品川区で
「ハッピーになるDX」しない？



デジタル技術を駆使して、みんなハッピーに

DXとは、デジタルトランスフォーメーションのことで、デジタル技術による変革を意味しています。デジタル推進課では、一般事務とICT採用の職員が在籍しています。システム関連の素人でもいい、人事異動の公募制度によりDXを進めたい！という希望を持って異動した人もいます。多様なキャラクターを活かして区民サービスや職員の働き方などにおいてDXを進めています。区民サービスでのDX事例としては、窓口や郵便で申請していたものをスマートフォンからサクッと申請できるようにしたり、キャッシュレス決済ができる場所を増やしたりなどを行っています。

デジタル技術を使って職員の業務効率化を実現し、区民のウェルビーイングを高めることがDXの使命であり、新しい技術で多くのハッピーを創っていくことが、デジタル推進課の仕事のやりがいです！

品川区で
「一緒に成長」しない？



多様な職員の能力を活かすために

人材育成は短期的スパンだけで考えるものではありません。組織がこの先5年、10年、50年と成長していくために、どのような人材を配置し、どのような戦略を立て、実行していくのが鍵となります。

品川区は自治体としては珍しいMission Vision Valueを策定し、区の目指す姿を明文化することで職員がベクトルを合わせて職務に向き合えるようにしています。さらに、タレントマネジメントシステムを自治体の中でいち早く導入し、職員の能力を最大限に活かすための体制を整えています。

品川区では全国的にも先進的な事業に従事することができます。やりたいことをやりたいと言える空気感があります。庁内横断型のプロジェクトにより、部署を超えた横のつながりを強化し、夢の実現に向けて進む人たちの後押しができることが、今の仕事のやりがいです！



こんな仕事、 品川区の 仕事紹介



品川区で
「区民の命を守る仕事」しない？

自助・共助・公助の力で、区民を安全・安心に

災害対策では、一人ひとりが自らの安全を守る「自助」、地域や身近にいる人同士が助け合う「共助」、そして、行政が自助および共助を支援し、区民の安全を確保する「公助」の連携が重要です。

平時は、防災課職員として、区民の防災意識を高めるための啓発イベントや、地域と連携した防災訓練の実施など、様々な方法で「自助」・「共助」を支援しています。

災害時には、区役所全体で災害対応をすることになり、「公助」の力で区民の生命を守る活動を行います。災害の状況によっては、区職員が避難所開設を行うこともあります。被害が発生する前に、迅速な避難所開設を行うことが、区民の生命を守ることに繋がります。誰もが影響を受ける安全・安心を守る行政の一翼を担うことは大きなやりがいがあります！



品川区で
「地域の盛り上げ役」しない？



区民に最も近い場所で、地域を盛り上げる

地域センターでは、区民の一番身近な窓口として、町会・自治会を中心に青少年対策地区委員会などの地域団体と協力・連携し、区民まつりや、防災訓練などのイベントを行っています。また、住民票など公的証明書の交付や税金・保険料などの徴収、集会所の貸出し業務など幅広い業務を行い、区民に最も近い場所で仕事をしています。

地域センターはデスクワークだけではなく、地域に足を運ぶことも多いです。例えば大崎第二地域センターでは、冬の親子バスハイクでスキー・スノーボードの引率など他の部署ではなかなか経験できないような仕事もあります！区には様々な部署があり、いろいろな仕事がありますが、区民に一番近い地域センターという場所で、地域の方々と一緒にまちを盛り上げませんか？





令和5年入区
若手



平成6年入区
管理職

きっかけは、インターンシップ

私が品川区を選んだきっかけは、学生の時に参加したインターンシップです。そこで、職員が定型的な業務だけでなく多岐にわたる業務の中で区民の方との温かなふれあいがあるということを知り、品川区役所で働きたいという思いが強くなりました。

防災の知識を広めていきたい

配属された防災課では、IP無線機やデジタル移動通信機など様々なシステムを扱いますが、災害時にしか使わないため、事前に訓練を行うことが重要です。防災訓練の当日にはうまくつながらないというトラブルが発生してしまいましたが、先輩がサポートしてくれたため無事に訓練を終えることができました。その経験から、しっかり事前準備を行うことや、担当として誰よりも知識を身につけておくことの重要性を認識しました。

1年目では、どうしても仕事の内容を理解することで精一杯でした。2年目になり、仕事内容や防災についての知識も増えてきたので、これからは自分が持っている知識をできるだけ多くの区民に伝えていきたいと思っています。

区長に影響を受けて、管理職に

当時都議会議員だった森澤区長の講演を聞いた際に、こういう人が区長になったら面白いだろうな～と思っていたら区長になったので、これも何かの縁だと思い、避けていた管理職に志願しました。現在は、品川の文化や観光を戦略的にPRしていく仕事をしています。

区を良くしていきたいという情熱を

常に壁にぶつかっていますが、いつの時も相談できる同僚や地域の人がいます。まずは、「一緒に汗をかく」こと。次に、職場や地域と一体になって、相手の立場をイメージする「想像力を養う」こと。そうすると信頼感が生まれ、仕事が楽しくなります。サポートは、あらゆる人たちがしてくれますので、ご安心ください。

自分からやりたいことを企画するのも挑戦ですが、指令や課題を「どう料理するか?」というも腕の見せ所です。せっかくだったら言われたこと以上の結果を出してやろうという前のめりなスタンスを!品川区を良くしていきたいという情熱を!そんな暑苦しいくらい挑戦者の皆さんをお待ちしております!

品川区で、よかった

成長ストーリー



専門職の仕事

品川区では、これらの専門職の他にも機械、心理、保健師、看護師、栄養士、技能職の募集を行っています。職員による仕事紹介や募集の詳細についてはホームページをご覧ください。



品川区で
多岐にわたる建築しない?

建築

建築基準法に基づく審査や指導をはじめ、公共施設の設計、都市計画の策定など、まちづくりに関わります。



品川区で
水辺のにぎわいづくりしない?

土木

道路、橋、公園や河川の整備・維持など都市基盤の形成に関わります。地域住民や関係機関と連携し、まちのランドデザインを描きます。



品川区で
良い施設づくりしない?

電気

公共施設における建築設備の中で電気関係に特化して、設計や工事監理を行っています。電気系統の安全確認の整備も行います。

品川から、ウェルビーイングな新しい社会をつくる

誰もが生きづらさを感じたり、選択を阻まれることなく、自分が望むように生き、幸せを感じられる社会。そうしたウェルビーイングな社会をつくるべく、現在、品川区では、先進的な施策に次々とチャレンジしています。こうした取組を推し進めていくためには、多様なみなさんの力が必要です!

Mission Vision Valueによって目指すべきベクトルを合わせ、お互いの強みを活かし、弱みは補い合う。「チームしながわ」のメンバーとして、みなさんの可能性と力を発揮していきませんか?

ぜひ品川区と一緒に働きましょう!

品川区長 森澤 恭子



品川区が求める人材

変化の時代の区政運営において、区民のウェルビーイング向上のために活躍できる人材を育成すべく、令和6年度に「品川区人材育成・確保基本方針」を策定しました。

品川区人材育成・確保基本方針

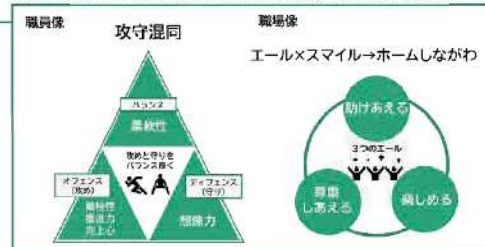
区民のウェルビーイング向上のために

一人ひとりが多様な生き方を選び、自由に未来を描くことができる品川区を創造します。

誰もが生きがいを感じ、自分らしく暮らしていけるしながわ

地域の中で、一人ひとりが個性や能力を発揮でき、互いに活かすしながわ品川区を築きます。

職員一人ひとりがそれぞれの能力を最大限に発揮して、品川区の未来に貢献します。



積極性・推進力・向上心に満ちあふれ、想像力を働かせて未来の展開を思い描き、機敏さと柔軟性を持って対応できる、攻めと守りのバランスが取れた人材を求めています。基本方針のp.12～13には「職員採用の際に着目すべき能力」の記載もありますので、ご確認いただき、品川区の求める人材をぜひ深く知ってください!

詳細はこちら



品川区で
衛生コーディネーターしない?

衛生監視

衛生面から暮らしの安全・安心を守る仕事です。食品衛生の対策、診療所の監視指導、大気汚染の調査・分析などを行います。



品川区で
人とのあひかりを実感しない?

福祉

子どもから高齢者まで幅広い世代の方と関わり、その人に合った福祉サービスを提供します。責任は重大ですが、その分大きなやりがいを感ずる仕事です。



品川区で
のびのびと保育しない?

保育士

乳児から小学校入学前の保育を必要とする子どもを預かり、保護者に代わり子育てを実践する仕事です。

安心できる環境で挑戦を

新時代しながわの働き方

安心挑戦



テレワーク

ワークライフバランスやウェルビーイングの実現など、職員の多様な働き方を目指しテレワークを導入しています。職員チャットを使用して、普段から円滑なコミュニケーションをとれる体制にしています。

DXを活用して快適に



シフト勤務

出勤・退勤時間を早めたり、反対に遅くしたりすることができます。自分の生活スタイルに合わせた働き方により、仕事とプライベートの両立が実現できます。

一人一人にあった働き方



各種休暇制度

育児休暇、出生サポート休暇、妊婦出産休暇、出産支援休暇、子の看護休暇など育児・出産のための休暇制度があります。休暇制度だけでなく、育児短時間勤務制度など、家庭環境に沿った勤務も可能です。

子育てとの両立を応援



多様な研修の実施

職員が積極的にスキルアップに取り組めるよう多様な研修を実施しています。職務に必要な知識・技能を伸ばすために、実務を通じて学ぶOJTや職場を離れて行うOffJT、自己啓発として検定や講座にかかる費用の助成もあります。

充実した人材育成制度



職員事業提案制度

職員が自ら考えた事業について、区長にプレゼンを行い、選ばれれば自分の提案が実現します！令和6年度には新たに9つの事業が実現！やりがいやモチベーションアップにつながります。

自らの意見を区政に反映



庁内横断型プロジェクト

区の課題について、様々な部署からやる気のある職員が集い、アイデアを出し合っています。例えば、新庁舎における新たなワークスタイルの実現へ向けて、若手職員が議論を進めています。

部署の垣根を超えた連携



公募による人事異動

配属先は職員の自己申告、意欲・適性を元に決定されます。定期異動は概ね3年～5年で実施されますが、公募制度もあり主体的なキャリア形成が可能です！

希望部署へ異動するには



昇任制度

最短で昇任した場合、30代で管理職への昇任が可能です！自分のライフプランに合わせて、適切なタイミングで昇任選考を受けることができます。

主体的なキャリア形成

庁舎が生まれ変わります！

品川区では令和11年度の供用開始に向け、新庁舎の整備を進めています。新庁舎では新たな働き方（ワークスタイルイノベーション）を実践することで、区民はもちろん、職員のウェルビーイング向上を推進していきます。



多様化する業務に効率的に対応できる職場環境



ワークスタイルイノベーションにより「思わず行きたくなる職場」に

DX推進によるデジタルツールを活用した区民負担の軽減



他部署との連携により発想力や想像力を高める仕組み



外観イメージ

新庁舎への移転に向け、品川区ではDXのさらなる推進によるペーパーレス・テレワークの拡大を目指しています。また、グループ/フリーアドレスの導入により座席が変わることで、コミュニケーションの活性化と部署の枠を超えた連携を強化していきます。時代の変化に合わせて進化していく品川区で、ぜひ働いてみませんか？

担当者より

区長とのランチミーティングって？

品川区では、「区長とのランチミーティング」と題し、お昼ご飯を食べながら区長と意見交換ができる場を設けています。役職や部署も関係なく、希望する様々な職員が集まり、仕事の話から趣味の話まで、ジャンルを問わず色々な話ができます。テーマは特になく、ざっくばらんに楽しくお話をしています。区長は、どんな話にも熱心に耳を傾けてくれるので、気軽に参加できます。



参加者の声

日常の業務の中で区長と話す機会はなかなかないので、ランチミーティングを通じて、普段聞けないようなお話や事業に対する区長の想いを聞けて、すごく有意義な時間を過ごすことができました！何でも話せる雰囲気なので、次回はもっと突っ込んだ話ができればと思います！